

「観光音頭」で松田をPR

愛情込め内藤さん 作詞しCDを町へ

東名降りれば松田町、
山にそびえるハーブ館へ
松田町松田惣領在住の
主婦・内藤ミチ子さん

(68)が作詞した、観光
が完成した。内藤さんは
立町を目指す同町の魅力
をPRする「観光音頭」
町長を訪ねCD各1枚を
寄贈。町では、各種行事



完成したCDとテープを手にする内藤さん夫妻

などでBGMとして流す
ことを検討している。
内藤さんの夫・信明さ
ん(70)は松田山にミカ
ン園を持ち、毎日の方
に登ることから、2人は
山への愛着が深い。足柄
平野や相模湾、箱根外輪
山や富士山など180度
のパノラマを最大の魅力
と考え、松田を広く知っ
てもらいたいとミチ子さ
んが作詞を始めた。

ミチ子さんは日本音楽
アカデミー作詞研究会の
講座を受けながら、1年
ほどかけて詞を書きあげ
た。俳句と短歌の経験は
あるが、詞を作るのは初

めて。その後、同会の作
曲サービスを活用し歌が
完成。2曲はカセットテー
プとCDとなり、ミチ子
さんの手元に届いた。

「観光音頭」は松田の
四季がテーマ。1番は、
松田山の早春を彩る河津
桜や寄(やどりき)の初

夏を飾る若葉まつり、2
番は大名行列や百八ツ火
など夏の観光祭り。3番
に松田山のハーブやミカ
ン、寄の紅葉、4番で松
田山や町内のイルミネー
ションを盛り込んでいる。

一方、「桜らんまん」
では河津桜にテーマをし
ばり、桜の開花に夢や希
望を重ねている。子供ら
に夢を持ってほしいとの
願いを込めた。いずれも
モダンな演歌調のメロディ
とリズムで、自然と首を
左右に振ってしまつよう
な聴きやすさ。

ミチ子さんは、「自分
の詞が歌になり、とても
うれしい。地元の子供た
ちに松田の魅力を知って
ほしい気持ちもあります。
この曲が町全体の活性化
につながれば」などと話
している。

同町企画財政課による
と、個人が町をPRする
歌を作り寄贈するのは初
めて。町では以前、演歌
歌手鳥倉千代子さんが歌
う「松田音頭」を制作し、
夏祭りで盆踊りの曲に使
うなどしていた。

町は、ミチ子さんの2
曲を屋内での行事や町健
康福祉センター「健康の
湯」で、BGMとして活
用することを検討してい
る。

神 靜 民 報
創刊 60 年